

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年3月19日

事業所名 障害児保育園ヘレン荻窪

	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	○		必要物品を置く保育をする為のスペースが狭く活動がしにくい、配置等をより考えなければいけないことが多い。今後、開園予定などあれば子ども、それに対するスタッフの数、物品をおくスペースや収納場所を考えた作りをして欲しい。 重心児:職員、1:1が必須だが狭いように感じる。ただいだけの部屋ではなく保育環境(遊びを中心とした環境)なので、安全且つ十分な活動ができない。そもそもの国の基準がおかしいのでは。その中でも限られたスペースでできる内容を考えて保育を行なっている。 園児が増えてきて、重心クラスは手狭 うみ組は座位保持椅子などの付属品が多く狭い 部屋がやや狭く、危ない 今後15人定員になったとき、やや狭いと思います。ランチルーム使用するなど検討中です。 収納棚の整備や倉庫の整理などを行い、以前より少し物が片付いてきた。	保育室内の整理整頓を行い、必要な保育・医療物品以外は出来るだけ収納できる環境作りに努めます。また、利用園児の人数や特性や十分考慮し、クラス間での保育室使用方法を検討していきます。日々の登園人数に合わせた保育活動の内容も工夫することで、より適切な過ごし方が提供できるように努めます。
	○		一時期の保育も看護もスタッフが少ない時期よりは改善されたと思う ただ、室内に大人の数が多ければ子どもにも刺激になるため、調整する必要がある 曜日により、非常勤の勤務時間が短いと、休憩が難しくなる。常勤が一人休むだけで食事介助や午睡担当、休憩が回しづらい。 人数の少ない時間帯や日があり、安全性を保つのが大変 少しずつ配置は増えているのでありがたいです。夕方のナースを増やしてくれると嬉しいです。 数は適切だが、新人や未経験者が多く質は足りていないと感じる 以前と比べ改善された。	曜日や時間帯によっての非常勤職員の偏りがある為、シフトや当日の配置を丁寧に検討し、安全に運営出来る体制を作ります。職員も環境の一部になる為、保育室内が園児にとって適切な環境になるように、配置数を検討します。夕方の時間帯に職員が手薄になる日があるので、予めシフトを調整し、必要な職種を配置します。
		○	他の部屋での音が入りにくいようにして欲しい。お互いのクラスの活動内容を事前に把握し、お互いのクラスに影響しにくいように活動の日にはちや内容を組み替えることもある。 天井のライトの種類、明るさについて。重心児は仰臥位でいることが多く、電気の明るさが直接影響を受けやすいため調光ライトや電球を変更できるようになると良い。 トイレが狭く、視覚的な刺激が多くなり注意力散漫になる まだまだ足りない点があります。今、できることは精一杯しております こども用トイレの配置、数すくなくバリアフリーでもない。改善すべき 3階のため災害時避難大変 保育環境としては散らかっている	限られたスペースや現状の設備を職員が十分理解し、安全で質の高い保育サービスを提供していきます。ライトやトイレなどの生活環境については、今できる最善の工夫を検討し、園児一人一人にとって、過ごしやすい環境を整えていきます。
	○		清潔を保てるよう日々清掃している。 清掃は念入りに行われていると思う 収納スペースが少なく道具や荷物がそのままおかれている 壁の構造上なのか、音の反響が大きく、刺激が強くなってしまい注意力散漫になる	引き続き、清掃チェックリストをもとに、日々清潔を心がけていきます。設備の構造上の問題については、活動内容に合わせて部屋を変える、クラス間の意識を高める等の工夫をしていきます。
業務改善		○	担任のみで行っている。 やっているのを見たことがない ミーティングが行われ始めていますが、なかなか情報共有が出来てないのが現状です。業務日誌の活用を徹底していきたいです。 個人でのものになっているのでチームとして動く意識を持てるようにしていく 全体MTGも、結局各クラスや職種の代表しか参加できないのでノートでの確認になる。結果、きちんと全体に周知されない。 確認は行なっているが、参画までは至らない。新体制がスタートしたばかりなので、業務整理の状態である 参画しているつもりだが、本部と現場と体制が違うことで、意見が通じないことが多い。	職種別・クラス別のミーティングを行うことで、日々の目標設定や検討事項を明確にしていますが、全体への周知が正確に行われていないので、業務日誌や日々のコミュニケーションを密に、情報の全体周知を行っていきます。今年度、新しい取り組みが多く、丁寧な振り返りが出来なかつたので、今後はPDCAのサイクルに沿っての園運営に努めます。
	○		改善できる点はつなげている。 保護者の意向をひろえているとはいいいがたい。評価表も大切だが、送迎や居宅保育が多く、日頃からの保護者とのコミュニケーションが足りていない故意向が拾いにくいと感じる 業務改善がなされているか分からない	評価表だけでなく、個別面談や日頃のコミュニケーションの中で、保護者の意向が把握できるように努め、全職員が共有できる方法を検討します。
	○			
	○		わからない	

	につなげているか			
	9. 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○	<p>専門や経験に応じて、研修機会を設けている</p> <p>参加したい研修はなんとかシフトを組んで参加しているが、体制に余裕はない。</p> <p>スタッフが増えて今年度は研修にいかせてもらえるようになり、よくなっていると感じる。</p> <p>休日の研修は振替休日がなく、研修に参加しづらい</p>	引き続き、専門性に合わせた研修の機会を提供し、参加者以外の職員にも共有できる場(研修報告・勉強会)を開催していきます。
	10. アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○	<p>保護者との何気ない会話からでも悩みやニーズをくみ取るよう努めている。クラス担任でも共有している。</p> <p>保護者とのやりとりが出来る場が少なく、ニーズを汲み取り切れているとは言い切れない。</p> <p>適切かつ具体的な目標や計画とは言えない</p>	引き続き、担任を中心にニーズ把握に努めます。
	11. 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○	<p>標準化されたアセスメントツールがないのである程度、参考にしていけるようなものを見つけていく必要がある</p> <p>絵カードなどの利用</p>	アセスメントツールというものは利用していませんが、園として担任が実態把握を実施する期間を設けています。
	12. 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定文字数	○	<p>家族支援は先述したように送迎が多く保護者とのコミュニケーションが少なく、充分にはできていないと感じる。</p> <p>地域支援はこれからの課題だと思う</p>	設問6と同様に、保護者のニーズ把握に努めます。
	13. 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○	<p>1週間や1ヶ月単位での短期目標を設定して、日頃から行動計画に沿えるように意識していく</p> <p>クラスミーティングで話し合う時間ができ個々の計画に沿った支援を行っている</p> <p>もう少しスタッフ間で支援を共有してほしいです。支援がコロコロ変わることがあるので、もう少し固めてから支援できるといいと思います。</p>	全職種間で、個別支援計画の設定目標を共有していきます。
	14. 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	<p>クラスミーティング等でチームで話し合いフィードバックして立案している</p> <p>保育スタッフだけでなく、他職種の意見も取り入れられるとさらに良いと思う</p> <p>クラスミーティングや雑談の中で話す機会をつくり、気軽に意見交換をしやすいようにしている</p> <p>内容によって保育だけでなく、看護師も交えて立案している。</p>	全職種間で、個別支援計画の設定目標を共有していきます。
	15. 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	<p>記録を取ったり、狙いや目標を設定し、つながりのある活動をしている。</p> <p>季節に応じた活動を取り入れている</p> <p>同じ題材でもねらいをかえたり新しい内容やプラスαのものをいれるようにしている。</p> <p>研修等参加し新しい情報を得る努力をし、実践に心がけている</p>	
適切な支援の提供	16. 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		
	17. 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	<p>ミーティングで行っている</p> <p>看護師にも保育に入ってもらえることがあるため、役割分担等確認することもある。</p> <p>時間画あるときは行っているが、絶対ではない。</p> <p>子どもの対応や他の業務もあり、毎日はそのような時間をとることは出来ず、なんとなくで進んでいることもある。</p> <p>活動予定表を貼りだし各自確認している</p>	保育職員が日々の活動をリードし、活動表の打ち出しや、打ち合わせを確認するように徹底していきます。
	18. 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	<p>毎日しっかりと時間をとることは出来ないの打ち合わせ振り返りを出来ない時には隙間時間に話し、共有できるようにしている</p> <p>これができる時間がほしいです。</p> <p>なかなか振り返りの機会が持てない印象があります。職種ごとの観点で話し合えるといいと思います。</p> <p>日により、振り返りの時間が取れていない。</p> <p>クラス内で行っている</p> <p>打ち合わせができないときにも、少ない時間で振り返り等行なっている。</p>	クラス別のミーティングを行うことで、日々の活動の振り返りを実施するようにしています。全体への周知については引き続き、業務日誌等で共有するように努めます。
	19. 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	<p>少ない時間の中、記録を取っている。</p> <p>書くだけになっているとは思いますが。振り返り、改善していければいいです。</p> <p>記録を取れない日もある</p>	記録書式の簡素化や記録時間の確保を検討します。
	20. 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	<p>モニタリングをするしがないが、書面としてのこのものがない</p>	再度、モニタリング時期と書式を検討します。
	21. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	<p>サービス担当者会議は行っていない。</p> <p>わからない</p>	
	22. 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	<p>わからない</p>	
	23. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	<p>保健師等あまりないように感じる</p> <p>様々なところとの交流をしていきたい</p> <p>今後、交流保育を予定している。</p>	
	24. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のあ	○	<p>連絡帳や必要に応じて書類を渡すことで整えている。</p>	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	る子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			受診記録用紙で主治医の意見を確認したり、共有してると思います。	
	25. 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		してはいるが、まだ少ないと思う。	
	26. 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		してはいるが、まだ少ないと思う。	
	27. 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		臨床心理士さんの巡回が数か月に一度ありますが、もう少し来ていただきたいです。 研修は受けているが第三者の評価や助言は必要と感じる スタッフの見学が来てます。ヘレンのスタッフが見学にいけるといいと思います。	引き続き、外部多職種からのアドバイスを受けていきます。
	28. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	機会はあるが少ない ぜひ、その機会を作っていきたいです。 交流保育進めているが実践にいたっていない 公園に限られているので、幅を広げられたら良い 今後、交流保育を予定している。	来年度に向け、認可園職員との交流を行いました。交流保育の実施に向けて準備を進めていきます。
	29. (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		
	30. 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		直接やりとりが出来る時間が少ないのでどのように保護者との連携をしていくかを考える必要がある 保護者とのコミュニケーションの機会が少なく足りていないと思う	連絡帳や送迎時でのやり取りで共有するようにしています。
31. 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○				
保護者への説明責任等	32. 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		入園の時点できちんと説明ができていなくて後々トラブルをうむ要因になりそうなのがある。今後のきちんとしていくよりに改善していくべき	
	33. 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		面談にて説明を行っている	
	34. 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		先述したようにコミュニケーションの時間足りていなく十分な支援ができていとはいいいがたい 大きな機会はないが、送迎のタイミングなど小さな機会は多いと思う	
	35. 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		具体的なことはできていない 園行事として保護者交流会をおこなっている	
	36. 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37. 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		定期的に園だよりを発行している。 園だよりを配布している	
	38. 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		鍵つき書庫にて書類保管すべきか。	
	39. 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		送迎が多いため、毎日話せないこともあるが、連絡帳や少ない時間でコミュニケーションを取っている。	
	40. 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	今後、検討する余地あり。 まだできていない。今後の課題	
	41. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		改めてマニュアル等策定している。 避難訓練は行いました。振り返りで出たことを改善できるといいと思います。	
非常時等の対応	42. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		改善点はあるが今洗い出しているところで改善されていくものと思う	
	43. 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		入園時や入園後、保護者からの連絡で確認している。	
	44. 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	45. ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	46. 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	47. どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		保護者説明が不十分 確認、配慮は行なっているが記録が不足している	支援計画に記載はしていますが、より丁寧に説明出来るようにしていきます。